

ながさき サンセットロード



みどころ まっぴが

長崎地区

ながさきサンセットロードお役立ちガイド

長崎さるく

■「長崎道(ゆう)さるく」J45コース(予約不要)
マップおのり、あちこち立ち止りながらゆめゆめ歩いて1コース約1時間半。それぞれのコースでそれぞれに特色のあるまち歩きが楽しめます。いくつでも組み合わせて、長崎を満喫してください。

■「長崎道(ゆう)さるく」J20コース(要予約)
地元ガイドもいっしょにまち歩きを楽しむ「長崎道さるく」のご案内するのは、このまちを知り尽くした地元ガイドのみなんです。大好きな長崎をたっぷり楽しんでほしい!あそこもここにも連れていきたい!そんな思いで道を磨いてお持ちしています。

■「長崎学(がく)さるく」(要予約)
長崎ならではのテーマについて、専門家による講座や体験を通して、さらに深く探求できるメニューが「長崎学さるく」。学んで食べてお楽しみも好奇心も大満足の参加講座や、とっておきの道を歩く本格的なウォーキング、めったに聞かない先生による1テーマ掘り下げタイプのワークショップなどバリエーションは様々です。

■「長崎食(しょく)さるく」(要予約)
長崎ならではの食を満喫できる「長崎食さるく」。食の達人による講座、とっておきの食事、お菓子を体験などおもしろいメニューがご用意されています。

そのほかオーダーのさるく「季節限定」のさるくなどあります。ご確認下さい。

お問合せ (社)長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるく受付
TEL: 095-811-0399 FAX: 095-826-9228

道の駅「夕陽が丘」とめ

地域の農林水産物、特産品、工芸品が販売されています。またレストランでは地産地消による料理を味わうことができます。

TEL: 0959-25-1430 休館日: 1/1~1/3
営業時間: 9:00~19:00
レストラン: 10:00~16:00(ラストオーダー)
11:00~20:00(ラストオーダー)

道の駅「彼の軒の荘」

特産原産物の産産館、隣接する歴史民俗資料館、文化伝来の道「長崎街道」など、新しい歴史と文化の交流スポットです。

TEL: 0957-49-3311 休館日: 1/1~1/3
営業時間: 7:00~19:00(12/31は全ての施設が12:00まで)
軽食: 10:00~17:00 体験施設他: 9:00~17:00

長崎市外海地区から女神大橋を越えて野母崎半島へつながるルート(国道202号、国道449号)では入り組んだ入り江や大橋、教会とともに、美しい海の風景が楽しめます。海に沈む夕日を見るポイントも多くあり、また、外海地区ではド・ロ神父の愛に心をうたれます。

長-1 大中尾棚田

平成11年(1999)7月に「日本の棚田百選」に選ばれた大中尾の棚田は、自然に囲まれた素晴らしい景観を持ち、四季折々で様々な表情を見せてくれるとともに、貯水や水滑り防止、生態系の維持に大きな役割を果たしています。

長-2 ド・ロ神父記念館(旧出津救助院)

救助院は明治12年(1879)、外海地方の主任司祭としてこの地に赴任したフランス人宣教師、マルコマリド・ロ神父が村民の窮乏を救うために創設した授産・福祉施設です。「授産場」「カカロニ工場」(いづれも国指定重要文化財)「製糖工場」(ド・ロ神父記念館)などが残っています。

開館時間: 9:00~17:00 休館日: 12/26~1/3
入館料: 一般300円、小中学生100円
※外海歴史民俗資料館との共通入館料

長-3 遠藤周作文学館

代表作である「沈黙」の舞台となったのが、外海。キリスト教の聖地としても知られ五島灘に沈む雄大な夕日が望める絶好の場所に建てられています。文学館では生前の愛用品をはじめ「沈黙」の生原稿、写真など約3,000点を所蔵しています。

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
入館料: 一般300円、小中学生100円
休館日: 12/29~1/3 TEL: 0959-37-6011

長-4 稲佐山公園

中腰には、イベント広場、小動物園、野外音楽堂などがあります。夜間は1,000ワットの夜景として欣赏されています。アクセスとしては、游船社からロープウェイが、運行されています。

■観覧ロープウェイ
往復料金: 一般1,200円、中学生900円、小児600円
営業時間: 9:00~22:00
※12月1号は、定期整備のため運休予定

長-5 浦上天主堂

建設計画は、1873(明治6)年、キリシタン弾圧の禁制とされた浦上の信徒連立によって行われたが、なかなか資金が集まらず20年余りの時を経て1896(明治29)年、やっとフレンシ神父の設計による教会の建設が始まりました。そして1914(大正3)年、東洋一のレンガ造りのロマネスク様式大聖堂として献堂式が行われました。

拝観時間: 9:30~17:00(無料) 休館日: 月曜日
TEL: 095-844-1777

長-6 平和公園

公園内には高さ9.7mの平和祈念像、水を流れて高さよった少女の守りがきざまれた平和の鐘などがあります。世界各国から贈られた平和のモニュメントが立ち並び、世界恒久平和を願う長崎市のシンボルゾーンとなっています。

長-7 原爆落下中心地公園

1945年(昭和20)8月9日午前11時2分、中心核の上空約600mでプルトニウム原子爆弾(フタトマツ)が爆発。中心核の心もとは、原爆でこぼれた方々の名前を納めた原爆犠牲者名簿があります。現在は、数層かな慰いの場として親しまれています。

たいけん EXPERIENCE

豊富な農村で自然・文化・人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズム。外海地区では豊かな自然環境や食や産業の歴史を活かした体験交流に積極的に取り組んでいます。詳しくは、道の駅夕陽が丘とめなどでPRリーフレットをご覧下さい。

■おいしい食料
田舎料理、パン・おかし作り、ド・ロさまそうめん作り、田舎体験、農業加工体験、そば打ち

■農家民宿

お問合せ 外海ツーリズム協議会 事務局(平べろカーリー内)
TEL: 095-822-9546 休: http://www.outseaturism.com

長-8 日本二十六聖人殉教地

豊臣秀吉によるキリシタン禁教により、慶長2年(1597)、京都府へ伝播していたフランシスコ会宣教師6人と日本人信徒20人が処刑された。昭和25年(1950)には、ローマ教皇・ピオ十三世がこの地をカトリック教徒の公式巡礼地として定めています。

長-9 興福寺

中国・明の商人が長崎と行き来をはじめた際に運来した中国人が元禄6年(1620)、航海安全を祈願して小庵を建てたことが起源となっています。境内には国指定重要文化財の大雄宝殿のほか数々の文化財が立ち並び、興福寺自体が県指定史跡に指定されています。

拝観時間: 7:00~17:00
拝観料: 大人300円、中学生200円、小学生100円
TEL: 095-822-1076

長-10 新地中華街

この町は、新地という名のとおり元禄16年(1702)、新しく海を埋め立ててできた人工島で、中国との貿易の品を保管する荷蔵(倉庫)が建ち、新地荷蔵と呼ばれていた場所です。現在は中華料理店や、コニークな中国雑貨、食材を豊富に取り揃えた約4軒の食料ひしめく歴史あるリトリチャイナとして賑わいを見せています。

長-11 オランダ坂

長崎では昔、東洋人以外の外国人を「オランダさん」と呼び、そのオランダさんが通る坂という意味で歴史的にあるすべての坂を「オランダ坂」と呼んでいました。現在は、主に活水学院下の神社、活水坂、誠学院前の坂がオランダ坂と呼ばれています。

開催時期	イベント名	お問い合わせ先
青年	ながさきさるく	長崎国際観光コンベンション協会(要予約) 095-811-0399
1月	のちきさき餅まつり	のちきさき餅まつり実行委員会 095-839-1199
2月	長崎フアンタスティバル	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
4月下旬	長崎帆船まつり	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
4月17日~6月2日	グラバー歴史博覧会	グラバー園 095-822-8223
6月下旬~6月中旬	ながさき祭(花火大会)まつり	長崎県観光推進課 095-822-1276
6月下旬~6月中旬	伏魔餅(ぎおん)祭り	野母崎三和興業共同組合 095-933-1131
7月下旬	礼曹祭(ぎおんまつり)	八雲神社 095-822-3833
7月下旬	ながさきみなとまつり	出資者委員会事務局(長崎県工業所内) 095-822-0111
7月下旬	長崎バーレーン選手権大会	長崎国際観光コンベンション協会 095-823-7423
7月下旬~8月上旬	もぎざき大祭り	尾毛漁業共同組合 095-836-0056
7月下旬~8月上旬	戸尼町 ほかみこ祭	たぶね漁業共同組合 095-930-2236
7月下旬~8月中旬	UM300 in 長崎	長崎市観光センター 095-936-8110
7月下旬~10月上旬	グラバー歴史博覧会	グラバー園 095-822-8223
8月	長崎祭り	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
8月5日	長崎県漁業技術者大会	長崎県漁業技術者大会実行委員会 095-829-1147
8月5日	礼曹祭	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
8月下旬	のちきさき餅まつり	町実行委員会 095-839-1199
9月	新三浦漁協大漁祭	新三浦漁協共同組合 095-859-2127
9月~12月	ながさき冬・春・夏・秋グルメフェスタ	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
9月中旬	中国音楽	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
9月下旬	2018長崎国際観光コンベンション協会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
9月下旬~10月上旬	長崎歴史芸術大会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月1日~3日	長崎くんち	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月13日~15日	アソビ祭	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月15日~16日	長崎バーレーン選手権大会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月下旬	長崎バーレーン選手権大会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月下旬	のちきさき餅まつり	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
10月下旬	秋の博覧会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
11月	ながさきさるくの感謝祭	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
11月上旬	ロッキンガム・長崎バーレーン選手権大会	長崎FCセンター「あじさいホール」 095-822-8988
11月上旬	丸山餅まつり	丸山餅 095-823-2281
12月	たぶね漁業共同組合	たぶね漁業共同組合 095-830-2236
12月	長崎県漁業共同組合	長崎県漁業共同組合 095-830-2236
12月下旬	グラバー歴史博覧会	グラバー園 095-822-8223

※このスケジュールはあくまでも予定です。お手数ですがお問合せ先でもう一度確認してお越しください。

長崎地区の観光ガイド

- 長崎観光ポータルサイト **ながさき旅ネット**
H P: <http://www.nagasaki-tabinet.com/>
- 長崎県観光情報センター
住 所: 長崎市長崎町3-1 電 話: 095-828-7875
- (社)長崎県観光推進課
電 話: 095-826-9407
- 長崎県観光振興推進本部
電 話: 095-824-1111
- 長崎市役所
住 所: 長崎市長崎町2-22 電 話: 095-822-8888
H P: <http://www.city.nagasaki.lg.jp/>

ボランティアガイド・レンタカー協会の連絡先

- (社)長崎国際観光コンベンション協会
住 所: 長崎市出島町1-1 出島ワーフ2F 電 話: 095-823-7423
- あっとながさき H P: <http://www.at-nagasaki.jp/>
- 長崎さるく H P: <http://www.saruku.info/>
- 長崎県レンタカー協会
住 所: 長崎市中里町1576-6(長崎県自動車協会会館2F)
電 話: 095-837-8610 H P: <http://www.9.oon.ne.jp/~rentacar/>

宿泊ガイド

- 長崎市旅館ホテル連合会
住 所: 長崎市米町5-5 F M長崎ビル2F
電 話: 095-821-3543

ながさきサンセットロードのホームページにアクセス!!

「ながさきサンセットロード」のホームページでは、現在行われている活動や日本風景街道に関する詳細情報など幅広く情報を公開しています。みなさまのアクセスをお待ちしております。

<http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~n-fukeikaido/>

長-12 孔子廟

明治31年(1893)清国政府と在日華僑が協力して中国の総本山山にちなんで伝統ある孔子廟(現在地)が建てられ、その後いくつかの改装で本格的な中国式孔子廟として現在に至っています。

拝観時間: 8:30~17:30(入館は16:30まで)
入館料: 大人600円、高校生400円、小中学生300円
TEL: 095-824-8022

長-13 グラバー園

国指定重要文化財のグラバー住宅を中心に同じく国指定重要文化財の日リッパ住宅・旧オルト住宅をはじめ、市内に散在していた有名な洋館を移築復元したものです。園内には長崎独特の坂、石畳による回遊路をめぐらし、異国情緒あふれる観光名所として親しまれています。

開館時間: 8:00~18:00(入館は16:30まで)
4月下旬~5月上旬は12:30まで
11月下旬~12月上旬は11:30まで
12月下旬は21:00まで
入館料: 大人600円、高校生300円、小中学生180円
TEL: 095-822-8223

長-14 長崎水辺の森公園

静かな憩いの空間として楽しむことができます。園内には「芝生広場」、野外劇場「月の舞台」や「森の劇場」などの多くのステージがあります。また、グッドデザイン賞で金賞を受賞しており、夜のライトアップも素敵です。

長-15 小宮修船場跡(ソロバンドック)

明治元年(1869)12月に完成した洋式近代のドックで、船を引き揚げる滑り台がソロバン状に見えたため、通称ソロバンドックの名で親しまれました。

長-16 沖之島教会

伊弉島港から遠見寺を目指して進むと見えるゴシック様式の聖堂が印象的。島の住民の約半数が敬慕するカトリック信者の、朝と夕方に祈りの鐘が響きます。

外來入: 10:00~21:00(入館は20:30まで)
運賃入館料: 大人410円、小中学生200円
開館日: 大人5,950円(一日二回) 駐: 1602

長-17 善長谷教会

多山の中間に建つ善長谷教会は本造の小さな教会です。周辺には邸と数軒の民家があるだけで、ここからの眺めはたいへん良く、夜光きらめく長崎湾沖のゾラマが広がり、また、特に夕日が沈むときの眺めは格別といわれ、アマチュアカメラマンたちの姿も度々見かけられます。

長-18 高島トマト直売所

高島名産の完熟トマト「高島トマト」は、トマトに余りな水分を与えないように独特の栽培法をとっているため、糖度が高く香りのよいトマトです。

2月下旬~5月上旬の毎週水・木・土曜日
8:00~17:00(1次売場)
TEL: 095-859-2006(販売員迄お声)

長-19 軍艦島(端島)

明治23年から製鉄用原料炭を供給してきた海底炭鉱の島。狭い島に高層アパートが林立する姿は、世界的にもめずらしく海の要塞とも思わせる外観が軍艦に似ていることから「軍艦島」と呼ばれています。昭和49年に閉山し、無人島となりました。平成21年1月に世界遺産暫定リスト入りし、同年4月から島内見学施設への立入ができるようになりました。

長-20 夫婦岩

国道499号沿い、黒井から建なる海鏡龍のなかでもひととき目を引くのが、奇形な岩の夫婦岩。海に向かって左が高さ11m、周囲24mの男岩、右が高さ11m、周囲26mの女岩。4億8千万年前のものといわれ、九州では最も古く、夕日に青に浮かび上がる光景は幻想的です。

長-21 野母崎海の健康村

雄大な海を望める宿泊と温泉の保養施設。全室オーシャンビューで大自然を満喫できます。また、車で10分の距離には、橋のなごりとして知られる雄山の展望公園があり、軍艦島など美しい眺めを堪能できます。

外來入: 10:00~21:00(入館は20:30まで)
運賃入館料: 大人410円、小中学生200円
開館日: 大人5,950円(一日二回) 駐: 1602

長-22 水仙の里公園

水仙の里公園にはハイター施設のある多目的グラウンド、テニスコート、プール、また海洋プールボードデッキが設置されるなど、のびのびと遊べます。水仙約1,000万球が植栽され、毎年1月に咲き誇る際には水仙まつりが行われ観光客が数多く訪れます。平成18年(2001)には長崎県で唯一、観賞用のけりけり風車100道に選定されました。

開花時期: 12月~1月(無料)
駐車料: 無料

長-23 長崎県亜熱帯植物園

長崎半島南端部の野母崎にある、暖地性の温暖な気候を活かした広大な果立植物園。東に国立公園雲仙を望み、天童湖に浮かぶ島々を眼下に、西に五島灘をひかえた雄大な景観が楽しめる園内には、1,200種45,000本の熱帯・亜熱帯の南国ムード満ち植物が茂っています。

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日: 毎月第1水曜日(休館日の場合は12/30~1/1)
入館料: 大人300円、小中学生150円、幼児無料
(各施設内在在の1/2中学生は無料)
TEL: 095-949-2004

長-24 樺島のオオウナギ井戸

樺島の海岸にあるこの井戸はオオウナギの生息地とされ、大正12年に国の天然記念物に指定されました。現在井戸にオオウナギの姿はありますが、付近に設置してある水槽で2匹のオオウナギを見ることが出来ます。

長-25 樺島灯台公園

樺島の南端、海拔100mの断崖の上にある白亜の灯台は、昭和17年(1932)の点灯以来、東海、五島灘を航行する船舶にもとより、遠く東シナ海へ向かう船舶の安全を守っています。この公園からは広々とした東シナ海の水平線を眺めることができます。また、展望台に立つと、目前に美しい大海が広がって、自然と一体化したような開放感を味わうことができます。

フード びわゼリー

溫和な気候と地産した茂木の枇杷の芳香とほのかな甘酸っぱい味を透明ゼリーでやさしく包んだ長崎を代表するお菓子です。

フード みさき駅さんわ

平成15年(2003)にオープンしたみさき駅さんわ、早朝できる行列は、陳列棚のいい場所を確保しようとする行商者、熱い、その新鮮素材を求め集まる地元の人々で午前中いっぱいは大賑わいです。

フード のもぎき朝市

平成16年(2004)10月にオープンした直売所、野母崎三和漁協、約70名の組合員達が運来した新鮮な魚を扱っています。特に土曜日は開店前から行列が出来るほどの人気ぶりです。

フード 野母んあじ

野母崎の漁師の熟練の技で一尾一尾大切に調理され、肉厚で骨のりが良い長崎産あじは、重さ900~900gの瀬戸のあじだけが選別され、「野母んあじ」と命名されます。こだわりの「ブランド魚」です。

フード からすみ

からすみは日本三大珍味の一つで、酒肴には最高です。原料となるボラの卵巣を、一手伝承の技術による塩漬、塩抜きを経て、天日で干すつくります。名前の由来はその形が中国の雲に似ているからだとされています。

フード 中華菓子

江戸時代、唐人(中国人)により伝えられたといわれる菓子で、現在では、常時10数種類の製品が作られています。代表的なものには金餅餅・よりより・月餅などがあります。

フード カステラ

まぎれもなく、長崎を代表するお土産です。西洋と交流が行われていた長崎だからこそのお菓子。作り方がシンプルだけに職人の匠の技が味を左右します。

フード ちゃんぽん

日本の誰かが知っている「ちゃんぽん」。元々はまかない料理だったとも言われています。長崎の特産品であり、地元長崎人からも愛され続けている一品です。

フード 一口香

「一口香」は、字を見ればその通り、ひと口に含めれば香り広がるお菓子という意味がわかりますが、「いっぺんこっぺん」という言葉の響きはなんとにも不思議で、形状もまた不思議な長崎のお菓子です。

フード 角煮まんじゅう

長崎を代表する郷土料理「串刺し」のメニューの一つ「東屋煮」から生まれた長崎のお土産として人気です。